

# Ginkgo flower いちょうの花

中原小学校校長室だより 第17号 令和3年8月27日

## 気配りができるようになってほしい

夏休み前集会で子どもたちにこんな話をしました。

みなさん、こんにちは。明日から36日間の夏休みに入ります。今日は、第1ステージの最終日です。始業式でお話をしましたが、本年度のキーワードは伝統です。第1ステージ、あなたたち一人一人が「伝統」を受け継ぎ、中原小学校を発展させることはできましたか？



「できたこと」、「できなかったこと」をはっきりさせて、できなかったことができるよう、第2ステージのがんばりにつなげましょう！

今から2500年ほど前、中国に「孔子」という人がいました。その人の言葉に「自分が人からしてほしくないことは、人もしてほしくないのだから、人にしてはならない」というものがあります。会話をしているとき、相手が怒ったら「冗談、冗談」と言っておまかしている人がいます。「冗談」とは、ふざけることです。相手が冗談と思わなかったら、それは冗談になりません。逆に、相手が冗談を分からないといって怒る人までいます。誰でもそうですが、一生懸命に行動したり、話したりしていると相手が見えにくくなります。そんなとき、ちょっと立ち止まって考えると、相手の様子がよく見えるようになります。つまり、気配りができるようになります。孔子は、この気配りこそが「思いやり」だと言っているのです。中原小学校をさらに発展させるために、第2ステージは「気配り」ができるようになってほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症をはじめ、病気や事故には、くれぐれも気をつけてください。それでは、夏休みも「元気、元気、元気！ with T」

これで、お話を終わります。

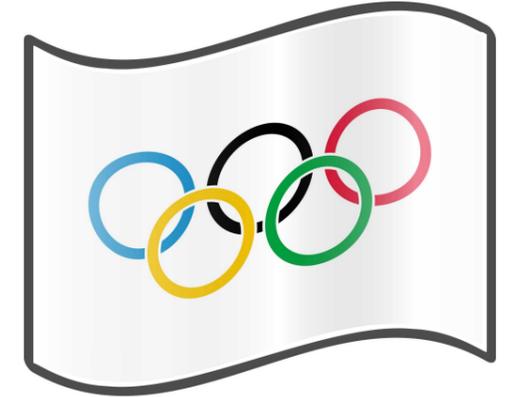
## 東京2020オリンピックから何を学びますか？

夏休み明け集会で子どもたちにこんな話をしました。

みなさん、おはようございます。36日間の夏休みはどうでしたか？今日から第2ステージが始まります。

「無事にオリンピックが開催できて、また戻ってくることができて本当にうれしいです」と涙ながらに話した、競泳の池江璃花子（りかこ）選手。白血病からの回復を果たし、東京オリンピックのリレー3種目に出場しました。女子4×100mメドレーリレーでは、8位入賞を果たしました。苦しい状況をはねのけた彼女の姿はとてもすばらしく、涙が出てきました。

令和2年2月に体調を崩し、白血病と診断され、約10カ月の入院。同年12月に退院しました。合併症が起きたために骨髄移植といった細胞移植を受けました。細胞移植を受けた後は、感染症や免疫反応による合併症が起こることがあり、合併症を防ぐため長期間病院に通い、検査や治療を続けることとなります。さらに再発することもあり、患者は常に不安を抱えています。症状が落ち着いた状態を5年間維持して、ようやく病気が治ったとみなすことができるそうです。また、移植を受けなくても、薬で筋力が落ちたり、長い入院で全身の体力が低下したりするそうです。医師は「これだけの短期間で、アスリートとしてトップレベルまで戻してこられたというのは驚異的。治療中から治療後、退院後の本人のたゆまぬ努力と、それを支えた関係者の手厚いサポートがかみ合ったのではないかと話しています。未来に向かって、たゆまぬ努力を続ける池江璃花子選手。あなたは、この姿から何を学びますか？



8月24日からは東京2020パラリンピックが開催されています。この機会に多くのことを学んでほしいと思います。NHKで、「アニ×パラ～あなたのヒーローは誰ですか～」が放送されています。5分間のテレビアニメです。パラスポーツの選手を漫画家がアニメ化しています。インターネットでも見ることができますので、参考にしてください。



それでは、第2ステージも「元気、元気、元気！ with T」これで、お話を終わります。

## 本校ホームページで様々な情報を発信しています。

本校ホームページを頻繁に更新しています。保護者や地域の皆様に本校の状況をお伝えするとともに、一緒に考えていただきたいこと等を掲載しています。再度、ご確認いただければと思います。

URL <https://es.higo.ed.jp/nakabaru/>

QRコード

